

深谷速さで圧倒奪還へ

準決勝



第98回 全国高校ラグビー大会 埼玉大会

埼玉新聞社など後援 (第5日、10日・熊谷ラグビー場) 第1シード昌平と第2シード深谷がそれぞれ勝って決勝に進出した。昌平は2年連続3度目、深谷は16年連続23度目。両



浦和・深谷 前半12分、深谷のWTB梅沢(中央)が先制トライを奪つ(新井将教撮影)

校の決勝対決は2年連続3度目。2年ぶりの優勝を目指す深谷は、第3シード浦和を25-12で振り切った。前半12分にWTB梅沢が先制トライを奪うなど前半で計4トライを挙げ、後半に2トライを返されて20-12まで迫られたが、同26分にWTB金川が試合を決定づけるトライを決めた。

連覇を狙う昌平は、第4シード立教新座を43-19で下した。前半4分のナンバー8浅井の先制トライから前半で計4本決り、後半もSH吉尾のトライなど計3本を奪った。決勝は17日、熊谷ラグビー場Aグラウンドで午後0時35分開始。

▽準決勝

深谷	20-12	浦和
浦和	00-21	立教新座
立教新座	43-19	昌平
昌平	40-20	熊谷

立ち上がりから速いテンポのパスで好機を築くと、後半の反撃らしき戻る

先制トライを取れなかったのも痛かった。前半1分、けがから復帰したSH宮本のハイパスをSO矢島がキャッチして、いきなりの好機をつくったが、決められず。矢島は「前半で1本取れていれば流れては違ったはず」と悔やんだ。堅守を破られた前半から一転し、後半は攻守に

期待の2年生で流れ呼ぶ足で流れ呼ぶWTB梅沢

浦和は前半にトライ4本を奪われて後半に回り、後半の反撃も及ばなかった。2年連続で準決勝敗退。三宅監督は「思っていたより相手のアタックが早くて食い込まれてしまった」と肩を落とした。

「とにかく前へ」。1年間の成果と、単調な攻めを繰り返した準々決勝の反省を踏まえ、深谷の山田監督が伝えたメッセージは、シンプルかつ的確だった。その思いに選手たちが応えた。

FW 山盛塚村内田斐永征木本藤田 亀永大沢藤勝甲松泉鈴梅伊高

好連係生む信頼関係

FWとバックスが一体となったラグビーは深谷の伝統。リズム良く球を回せたのもFWの突進力があつたからだし、FWをバックスが助けたからこそ、トライを取り切れた。後半26分にタメ押しトライを奪ったWTB金川は「FWが体を張ってくれたから、相手にもミスが出た」と力を込める。1年間、築き上げてきた信頼関係が形になった。

△レフェリー 渡辺

▽30分ハーフ

△交代「深」矢島(中央)井下(野口)新井(国松)浦(村岡)大塚(梯沢村)黒田(伊藤)関野(永盛)内山(黒田征)木野(亀山)

△H B 野中、工藤 村井 湯沢 野川 瀬戸 岩 木松 木中国 脇野 岡村 大

FW 山盛 塚村内 田斐 永征 木本 藤田

TB 亀永 大沢 藤勝 甲松 泉 鈴 梅 伊高

FB H B 宮本、矢島

【浦和】

△交代「深」矢島(中央)井下(野口)新井(国松)浦(村岡)大塚(梯沢村)黒田(伊藤)関野(永盛)内山(黒田征)木野(亀山)

△レフェリー 渡辺

▽30分ハーフ

△交代「深」矢島(中央)井下(野口)新井(国松)浦(村岡)大塚(梯沢村)黒田(伊藤)関野(永盛)内山(黒田征)木野(亀山)

△レフェリー 渡辺

▽30分ハーフ

準々決勝以降組み合わせ

① 昌平	64-0
② 慶応志木	43-19
③ 熊谷工	38-22
④ 立教新座	